

柿野住民自治協議会は「みんなが安全で安心して暮らせる町、柿野」～夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野～を目指して活動しています

柿野地区防災計画の策定に着手

備えあれば憂いなし！

組自治会長に避難ルートと危険個所の調査点検、報告を依頼



住民自治協議会から危険個所などの調査点検と報告を依頼される各組自治会長の皆さん
(飯南産業文化センター研修室で)

柿野住民自治協議会は4月19日に飯南産業文化センターで開いた同協議会自治会部会の自治会長会議で、各組自治会長に地区の土砂崩れなどの危険個所を調査、点検、報告するよう依頼しました。この調査を基にハザードマップ（災害危険地図）の作製を急ぎ、来年度初めにも「柿野地区防災計画」をまとめて住民に周知徹底し、防災、減災対策を万全にすることになっています。

全国で大災害が続発する中、柿野地区にはこれまで災害計画指針はありませんでした。自治会長に調査を依頼したハザードマップに掲載するのは土砂崩れや土石流発生、氾濫、住宅浸水の被害が予想されるなどの各地区の危険個所。調査点検では、「普段は水が少ないが、台風、集中豪雨時には氾濫や土石流が発生する恐れがある」「〇〇さん宅の裏山は崖崩れの恐れがある」「老木があり、強風時倒木の恐れがある」「避難経路になっているが、災害時は寸断され、使えない恐れがある」など、具体的な報告を各組自治会長に求めています。

防災計画は「災害時の人的被害ゼロ」を目指して策定するとした目的をはじめ、1959年（昭和34年）9月の伊勢湾台風被害写真など大災害被害の様子を紹介。減災対策として▼自主防災組織の強化▼避難所運営方法のマニュアル化▼お年寄り、身体障害者の支援方法を事前確認し、逃げ遅れを防止▼防災研修、避難訓練と防災資材の備蓄、点検、更新を行うなどを定めます、また、各家庭では非常持ち出し袋の用意や避難経路、避難場所の確認、気象庁が発表する警戒レベル（2～5）や自治体が出す避難情報のレベルに応じてどう、行動すればいいかという風水害タイムラインも示しています。

柿野住民自治協議会では、防災計画がまとまれば、各組集会の場で配布し、自治会長に説明をお願いして、災害の備えに対する住民の意識を高め、いざというときに役立ててもらおうことにしています。



毎日の生活で困ったことがあったら

「柿野支援隊」におまかせを！

柿野支援隊は柿野地区の住民が日々、安心、安全、快適に暮らすことができるよう、お互いに助け合う組織です。

☆ごみの処理、家周辺の掃除（除草、生垣の剪定など）、家の軽微な補修、畑の耕運、電球交換などの生活支援を有料で請け負います
（80 歳以上の世帯などが対象）



【利用料金を改定します】

諸物価高騰で運営費がひっ迫しているのご理解をお願いします

現行

1人1時間当たり500円(30分当たり250円)
運搬交通費 1 ㎞につき20円
作業用機材燃料費 1 台当たり 210 円



改定

1人1時間当たり1000円(30分当たり500円)
運搬交通費 1 ㎞につき 25 円
作業用機材燃料費 1 台当たり 230 円

☆利用申し込みは柿野住民自治協議会事務局(090・5769・6948)
または民生児童委員、各組自治会長まで



柿野住民自治協議会

柿野支援隊の利用料金改定などを決める

柿野住民自治協議会が令和 7 年度総会を開く



総会の冒頭であいさつする竹岡春俊会長（左上）（飯南産業文化センターで）

柿野住民自治協議会は令和 7 年度度の活動内容などを決める総会を 5 月 17 日、飯南産業文化センターで開きました。発足 3 年目を迎える柿野支援隊の運営は諸物価高騰のあおりを受けて運営費がひっ迫していることから利用料金を値上げすることを決めました。

総会では、令和 6 年度の事業報告、決算や令和 7 年度の事業計画、予算案、役員選任など計 9 議案が承認されました。柿野支援隊利用料金の改定は燃料費、人件費などの高騰による改定で、1 人 1 時間当たり 500 円（30 分当たり 250 円）だった利用料金

を 1000 円（同 500 円）に、1 ㌧ 20 円だった運搬交通費を 25 円に、1 ㌧ 210 円だった作業用機材燃料費を 230 円にそれぞれ値上げしました。これに伴い、作業を行う協力会員の賃金は 1 人 1 時間当たり 400 円（30 分当たり 200 円）が 800 円（同 400 円）に、運搬交通費と作業用機材燃料費は新料金が全額支給されることになりました。

承認された議案の抜粋は次の通り

＜令和 6 年度事業報告(抜粋)＞

【柿野支援隊】

利用会員 15 名、協力隊員 43 名登録
利用件数 23 件 出動協力隊員延べ 66 名 作業時間延べ 149 時間
仮払い機取り扱い安全衛生教育講習会 7 名受講

【自治会部会】

防犯灯修繕 8 基 地区草刈り 安全安心暮らし講習会 防災訓練 救命講習会
寄せ植え教室 野菜作り教室

【環境福祉部会】

花いっぱい運動 防災グッズ贈呈事業 敬老事業 グラウンドゴルフ大会
さら☆トレ楽ちん講座 お菓子作り教室 健康ウォーキング

【教育文化部会】

深野棚田観光案内看板設置 親子ものづくり教室 夏休み子ども映画鑑賞会
バルーンアートづくり 歴史文化学習会（深野和紙紙漉き体験）

＜令和 6 年度収支決算報告(抜粋)＞

【収入】	
活動交付金（松阪市住民自治協議会連合会から）	2,120,000 円
地域福祉助成金（市社会福祉協議会から）	100,000 円
会費（横野、深野区負担金）	20,000 円
諸手当（市広報配布手数料）	1,199,396 円
前年度繰越金、その他収入(花いっぱい運動負担金、各種事業参加負担金など)	838,295 円
計	4,277,691 円
【支出】	
(自治会部会) 1,430,460 円	
地域振興費補助金（横野、深野区へ）	37,500 円
諸手当（自治会長手当）	1,199,396 円

自治会部会・その他支出(防犯灯 LED 交換事業、草刈り助成金など)	193,564 円
(環境福祉部会) 1,043,902 円	
柿野支援隊事業 (一般分 10 千円、元気応援事業分 400,184 円)	410,184 円
環境福祉部会・その他支出(敬老事業、防災グッズ贈呈事業など)	633,718 円
(教育文化部会) 284,623 円	
棚田案内看板作成事業	107,800 円
観光案内チラシ作成事業	11,000 円
体育振興会助成金	7,748 円
教育文化部会・その他の支出(紙漉き体験教室、親子ものづくり教室参加負担金など)	158,075 円
(事務局費) 1,507,712 円	
役員報酬	200,000 円
事務員賃金	700,000 円
事務用品費	176,969 円
備品購入費(屋外物置購入)	211,600 円
事務局費・その他支出(広報費、印刷費、など)	219,143 円
計	4,266,697 円
	(翌年度繰越し 10,994 円)

《柿野支援隊会計収支決算報告(抜粋)》

【収入】	
一般会計繰入金	10,000 円
賛助会費	0 円
利用料	74,500 円
雑収入(燃料費運搬交通費など)	18,210 円
計	103,396 円
【支出】	
活動費(協力会員報酬)	59,600 円
燃料費	7,321 円
資材調達費	8,982 円
計	100,161 円
	(翌年度繰越し 3235 円)

《柿野住民自治協議会役員》

会長	竹岡春俊
会長代行	南一生
副会長	出口健太 竹岡和也
書記	磯田生千子
会計	廣田昇
顧問	稲葉丈治
事務局	中出栄一

(任期 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日まで)

《柿野支援隊役員》

隊長	竹岡春俊
副隊長	南一生
コーディネーター	
稲葉丈治 (横野) 栃木善明 (深野)	
運営委員	出口健太 竹岡和也
会計	廣田昇
事務局	中出栄一
監査	廣田覚 中川はるみ

(任期 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日まで)

《令和 7 年度事業計画(抜粋)》

【柿野支援隊】

賛助会員の募集促進 住民主体型訪問サービス事業成金の有効利用

【自治会部会】

防犯灯修繕 救命講習会 草刈り事業 防災対策の推進

【環境福祉部会】

健康ウォーキング 花いっぱい運動 敬老事業 お菓子作り教室

【教育文化部会】

親子ものづくり教室 モルック教室 バルーンアートづくり 歴史文化学習会

《令和 7 年度事業予算(抜粋)》

【収入】	
活動交付金(松阪市住民自治協議会連合会より)	1,805,000 円
住民主体型訪問サービス事業助成金(市高齢者支援課より)	120,000 円
地域福祉助成金(松阪市社会福祉協議会より)	100,000 円
会費(横野区、深野区各 10,000 円)	20,000 円
花いっぱい運動負担金 (横野区 15,000 円、深野区 30,000 円)	45,000 円
諸手当 (市広報等配布手数料)	1,200,000 円
前年度繰越金、その他収入(地域振興費交付金ほか)	96,694 円
計	3,386,694 円
【支出】	
(自治会部会)	1,429,500 円
地域振興費補助金	37,500 円
諸手当(自治会長手当)	1,200,000 円
自治会部会・その他支出(防犯灯 LED 交換事業ほか)	192,000 円
(環境福祉部会) 585,000 円	
敬老事業	220,000 円
住民主体型訪問サービス事業 (支援隊活動消耗品など)	121,000 円
環境福祉部会・その他支出(花いっぱい運動ほか)	244,000 円
(教育文化部会) 82,000 円	
柿野小学校活動助成金	10,000 円
飯南体育振興会助成	8,000 円
教育文化部会・その他支出(歴史文化学習会、夏休み映画観賞会ほか)	64,000 円
(事務局費) 1,290,194 円	
役員報酬	200,000 円
事務局賃金	700,000 円
事務用品費	118,694 円
事務局費・その他支出(通信運搬費、広報費ほか)	271,500 円
計 3,386,694 円	

《柿野支援隊会計予算(抜粋)》

【収入】	
一般会計繰入金	10,000 円
賛助会費	10,000 円
利用料	120,000 円
雑収入 (燃料費など)	19,900 円
計	163,135 円
【支出】	
活動費 (800 円×120 時間)	96,000 円
刈払機安全講習講師料	10,000 円
消耗品費	18,000 円
燃料費 (混合油 30 ℓ×230 円)	6,900 円
諸費用 (運搬交通費 事務用品費等)	32,235 円
計	163,135 円

おいしい野菜をつくるには！

野菜作り教室に25人



自治会部会は令和7年2月21日、飯南産業文化センターで野菜づくり教室(写真)を開き、家庭菜園などで野菜作りを楽しむ主婦ら25人がおいしい野菜の栽培方法を学びました。

講師はJA みえなか飯南営農振興センター職員の東川健司さんとJA全農みえ生産資材部肥料農薬課職員の長谷川頌子^{しょうこ}さん。東川さんは夏場、連日35度以上の気温が続くと作物の光合成能力が低下し、成長障害を引き起こす高温障害について対策を説明しました。遮光ネットの使い方や早朝、夕方に灌水し、水分の蒸発量を抑えること、肥料は作物の耐熱性を高めるカリウム、高温ストレスの耐性を高める鉄、マンガン、亜鉛、銅、ホウ素などの微量栄養素、作物の細胞壁を強化するケイ酸を施すのがよいとアドバイスしました。長谷川さんは高温などによる植物のダメージを軽減する新しい技術「バイオステイミキュラント(BS)」

を紹介。これは肥料でも土壌改良剤、農薬でもなく、資材で、アミノ酸、ペプチド、海藻抽出物などが原料成分であると解説しました。参加者は資料を手に講師のアドバイスをメモしながら熱心に聞き入っていました。



歩いて歩いて健康づくり

棚田のウォーキングに40人



健康ウォーキングで棚田を見ながら歩く参加者の皆さん(深野で)

環境福祉部会は令和7年3月9日、足腰を鍛える健康ウォーキングを開催し、40人が参加しました。コースは深野の名勝・棚田を巡る約3キロ、時間にして45分のウォーキングで、素晴らしい景色を満喫しながら楽しく歩きました。

この日は寒風が吹き、寒い一日となったが、3キロの短いコースとはいえ、急坂が続くだけに、「ハー、ハー、ゼイ、ゼイ」と息を荒くするも出て、体も汗ばむほどになって歩きました。だんだん田公園では深野棚田保存会の廣田昇さんが「棚田は120段、広さは約35^畝。室町時代に開拓が始まり、長い年月をかけて今の棚田ができました。1999年、農水省の「日本の棚田百選」のひとつに選ばれています」と解説しまし

た。この後、コースの中では一番上にある長さ約3メートルの長方形をした「唐戸岩^{からといわ}」を御神体とする祠と山の神の祠を訪ね、歴史ある深野の一日を堪能しました。



夏草刈りの奉仕活動に13人が参加

自治会部会の清掃美化活動

管内の清掃美化活動に取り組む自治会部会は7月6日、恒例になっている横谷地区の地藏寺周辺などの草刈り作業に汗を流しました。

各組自治会長や推進委員の13人が参加。暑さを避けて早朝の時間帯に行い、刈払い機などで生い茂った夏草を刈り取りました。草は背丈ほどに生い茂っており、参加者は汗だくになりながら作業をしました。自治会部では今後、清掃美化活動の在り方について検討をしていく方針です。



地域を花いっぱい！

環境福祉部会の花いっぱい運動
2690 鉢の花を配布



軽トラックに花を積み、各家に配って歩く組自治会長や推進委員の皆さん（横野で）

毎年、花いっぱい運動を行っている環境福祉部会は6月15日、各世帯や施設、事業所計490か所に、夏から秋にかけて咲く花2690鉢を配布しました。

花いっぱい運動は地域を花で飾り、気持ちを豊かにすることをねらいに展開しているもので、今年はアゲラタム、マリーゴールド、ダリア、ケイトウ、ニチニチソウの5種類の花を横谷の杉本園芸に発注しました。

この日は朝から、各組自治会長が一戸当たり5種類5鉢の花を杉本園芸で受け取り、各戸に配りました。花が好きで配布を心待ちにしている世帯もあり、きれいに咲いた花を笑顔で受け取っていました。



戦争の悲惨さを描く
「ガラスのうさぎ」を
上映
夏休み子ども映画鑑賞会



「ガラスのうさぎ」を鑑賞する親子連れの皆さん（飯南産業文化センターホールで）

教育文化部会は飯南公民館と共催で「夏休み子ども映画鑑賞会」を8月9日、飯南産業文化センターホールで開きました。

8月15日の終戦の日を前にしての企画ということから、戦争の悲惨さを描いたアニメ映画「ガラスのうさぎ」を上映しました。この作品は児童文学作家の高木敏子さんが戦争で家族を失った自身の経験をもとに書いたノンフィクション文学をアニメ化しました。

1945年（昭和20年）3月10日の東京大空襲で母と妹2人が犠牲になり、父が営んでいたガラス工場が焼失。焼け跡に父が作ってくれたガラス細工のうさぎがゆがんだ形で残っていた。その父も疎開途中、アメリカ軍機による機銃掃射で死亡。天涯孤独になり、苦難の人生を歩んだ少女の物語です。厚生労働省の児童福祉文化奨励賞、日本ジャーナリスト会議奨励賞を受賞しています。

親子4組10人が鑑賞し、戦争の悲惨さ、平和の大切さをかみしめていました。

環境福祉部会は8月3日、夏休み中の子どもたちを対象にした「親子ものづくり教室」を飯南産業文化センターで開き、子どもたちが昔懐かしい竹とんぼを作りました。

13組の親子35人が参加。講師は竹細工を趣味にする深野の出口健太さんと、最初に出口さんが作った竹とんぼを会場で飛ばすと、子どもたちは目を輝かせて竹とんぼに見入っていました。

羽根と軸の形は、参加者全員の分を出口さんがあらかじめ作って用意し、参加者はよく飛ぶように羽根に角度や丸みをつける作業を行いました。竹とんぼに触ったことのない現代っ子だけに、出口さんは飛ばし方も伝授。「軸を両手で挟み、右手でこするように回転を与えて空中に放り出します」と説明し、子どもたちは何度もやり直して、勢い良く空中に上がって行くと、「飛んだ、飛んだ」と喜んでいました。



出口さん（左端）の指導で竹とんぼを作る子どもたち（飯南産業文化センター研修室で）

竹とんぼづくり楽しむ

親子ものづくり教室



お知らせ

☆地域防災講演会（演題は自然災害から住民の命を守る）



9月21日（日）午前10時から飯南産業文化センター研修室
講師は宮前まちづくり協議会防災部会の防災士・四十山義則さん



☆グラウンドゴルフ大会（飯南公民館共催）

10月18日（土）午前9時から飯南グラウンド



☆コーヒーの淹れ方教室

11月12日（水）午後1時30分から飯南産業文化センター調理室
講師は「みなまた珈琲」の久世惇人さん



☆救命講習会

11月19日午前10時から飯南産業文化センター研修室
講師は松阪広域消防飯南分署職員



☆お菓子作り教室

12月4日午後6時30分から飯南産業文化センター調理室
講師は粥見「甲子軒」代表の星野美沙希さん



☆バルーンアート教室

12月7日午前9時30分から飯南産業文化センター研修室

講師は下仁柿の水本安雄さん



☆寄せ植え教室

12月21日午前9時から飯南産業文化センター研修室



☆紙漉き体験教室（歴史文化学習会・飯南公民館共催）

令和8年1月23日午後1時から深野の飯南和紙和牛センター

講師は深野和紙保存会



☆野菜づくり教室

令和8年2月20日午前9時から飯南産業文化センター研修室

講師はJA みえなか飯南営農振興センター職員



各イベントとも開催日の前に参加者募集のチラシを回覧します

問い合わせは柿野住民自治協議会事務局（090・5769・6948）

までお願いします

毎月 11 日は黄色いレシートを柿野住民自治協議会のBOX に投函を！

毎月 11 日にマックスバリュ各店で発行される黄色のレシートを大石店に置いてある BOX に入れてください。レシート金額の 1 % が柿野住民自治協議会の事務用品代として助成支給されます
ご協力をよろしくお願いします



編集後記

戦後八十年。不安の中で激動の時代を生きた年代も少なくなりました。平和な時代に生きる今に幸せを感じますが、最近の相次ぐ天変地異が違つ意味で不安です。体温を上回る命の危険のある酷暑、線状降水帯による局地型集中豪雨災害、生活スタイルをすっかり変えた疫病の流行、大地震災害。現代の私たちもまた、いつ、災難に遭つか、わからない不安な時代に生きています。この不安定な時代を生き抜く術は何か。それは適切な情報の取得です。命を守るためにどう行動するか、判断材料になる有益な情報を持つている者が生き残ることができるのです。昭和の時代は情報を手でできるのはメディア関係者ら一部に限られていましたが、今は幸いにしてSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）という一般の誰もが利用できるインターネットツールがあります。しかし、SNS は功罪両面があります。人を誹謗中傷するためや偽情報を発信して世間を混乱に陥れるために使う輩がいる半面、正確で良心的な情報を流してくれる人もいます。洪水のようにあふれる情報をいかに取捨選択して、自分に役立つ正しい情報を得ることができる能力が現代人には必要なのです。この会報でも、皆さんに役立つ適切な情報を発信し続けていきたいと考えています（こ）